

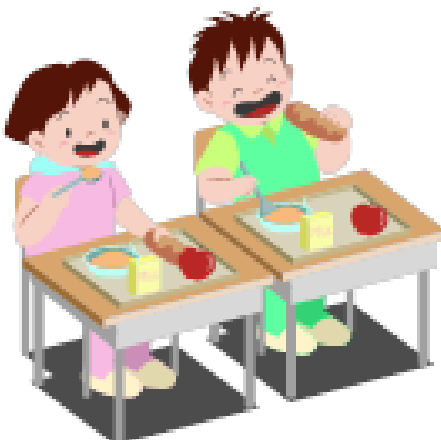
学校給食の放射性物質を毎日提供前に測定しています。

市では、学校給食が安全な食材で作られていることを再度確認し、安心して子どもたちに給食を食べてもらうようにするため、食品内放射能測定器を各学校給食センター（４施設）及び、各単独給食実施校（２３校）に設置し、給食一食全体の放射性物質のスクリーニング測定（学校給食まるごと検査）を毎日、給食提供前に実施しています。

- 測定機器：ベラルーシ ATOMTEX 社製 Na I (Tl) シンチレーション検出器
測定場所：福島市学校給食センター（４施設）、単独給食実施校（２３校）
測定方法：提供前の給食をミキサーにかけて試料をつくり、測定容器につめて測定します
測定項目：放射性セシウム１３４・１３７
検出下限値：放射性セシウム１３４・１３７それぞれ１０ベクレル/kg
（検出下限値未満は「検出せず」と表示します）
※検出下限値を超えた場合は、給食を提供いたしません
測定頻度：各学校給食センター、単独給食実施校ともに原則毎日
測定時間：９００秒
測定結果：福島市のホームページで、各施設の測定結果をご覧ください。



納入業者は市場等から安全性の確認された食材を調達しています。
食材は、使用する当日の朝に納品されます。



各給食施設において、放射性物質のスクリーニング測定を毎日の給食提供前に実施し、検出下限値未満であることを確認した上で提供します。